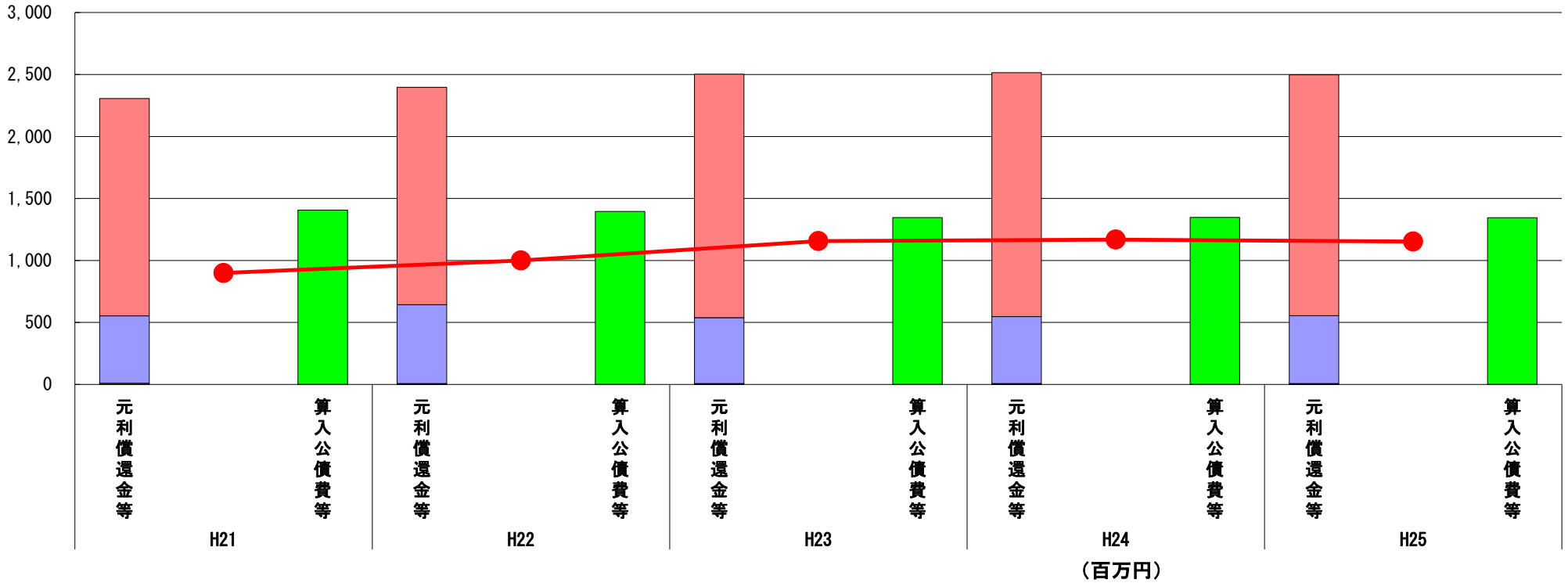


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

北海道白老町

(百万円)



分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,753	1,753	1,963	1,968	1,942
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		543	636	532	540	548
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		9	6	6	6	6
	一時借入金の利子		1	1	1	1	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,407	1,396	1,346	1,347	1,345
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		899	1,000	1,156	1,168	1,152

分析欄

実質公債費比率については、地方港湾白老港建設事業をはじめ、過去からの大型事業の実施に伴い、高い水準で推移している。

特に、平成23年度決算、平成24年度決算においては、第3セクター等改革推進債の元利償還金の増加などを背景として、過去にもまして数値の上昇を招いている。

今後は、普通建設事業等の抑制による新規地方債発行の抑制に努め、早期に指標の改善を実現できるよう計画的な財政運営に努めたい。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。